



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月8日

上場会社名 株式会社和井田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6158 URL <https://www.waida.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 和井田 光生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上小家 崇 (TEL) 0577-32-0390
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 2026年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,659	△11.8	254	△64.1	355	△51.6	275	△36.6
2025年3月期	7,554	0.2	709	△26.8	734	△32.7	435	△40.2

(注) 包括利益 2026年3月期 514百万円(20.5%) 2025年3月期 427百万円(△51.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	42.34	—	2.6	2.8	3.8
2025年3月期	66.95	—	4.3	5.9	9.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,535	10,646	84.3	1,620.26
2025年3月期	12,602	10,355	81.5	1,578.29

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,567百万円 2025年3月期 10,267百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	742	△440	△465	4,340
2025年3月期	917	△401	△12	4,472

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00	221	50.8	2.2
2026年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	221	80.3	2.1
2027年3月期(予想)	—	18.00	—	20.00	38.00	—	—	—

(注) 2027年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,574	15.0	195	123.2	234	90.9	164	71.5	25.14
通期	7,524	13.0	428	68.0	501	40.9	351	27.2	53.81

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社 (社名)和井田機床(上海)有限公司、除外 -社 (社名)-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	7,028,000株	2025年3月期	7,028,000株
2026年3月期	505,649株	2025年3月期	522,808株
2026年3月期	6,516,287株	2025年3月期	6,498,736株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,414	△10.5	302	△55.0	396	△45.5	292	△33.5
2025年3月期	7,168	△1.2	671	△30.2	727	△31.3	440	△37.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	44.93		-					
2025年3月期	67.71		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	12,132		10,462		86.2	1,604.13		
2025年3月期	12,315		10,166		82.5	1,562.76		

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,462百万円 2025年3月期 10,166百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における工作機械業界は、2025年度累計の受注総額が前年度比12.9%増の1兆7,046億円、うち、内需は前年度比0.4%増の4,460億円、外需は前年同期比18.1%増の1兆2,585億円と、外需を中心に堅調に推移しました。

このような経済環境下、当社は、金型関連研削盤についてはプロファイル研削盤「SPG-X」やデジタルプロファイル研削盤「SPG-XV」を中心に、切削工具関連研削盤については全自動インサート外周研削盤「APX-105」や全自動5軸複合インサート研削盤「APX-F50」を中心に受注販売活動を行ってまいりました。また、2025年10月の「メカトロテックジャパン2025」に「SPG-XV」を出展するなど、国内外の各種展示会にて新製品や新技術のPRを行うほか、各分野の新製品の研究開発を継続して行っております。

海外展開につきましては、引き続き、各地域において今後の需要拡大のための各施策を行っております。米国地域においては、2025年1月に設立した連結子会社であるWAIDA AMERICA INC.にて現地従業員を採用するなど活動を拡充し、北米のお客様への受注販売活動や、中南米への営業拡大に向けた取り組みを行っております。欧州地域においては、ドイツの連結子会社であるWAIDA Europe GmbHに営業担当者及びアフターサービス担当者を配置し、欧州での受注販売活動やアフターサービスの強化を図っております。アジア地域については、当社の主力市場の1つである中国事業のさらなる発展と強化のため、上海に現地法人を設立することを決議いたしました。現在、法的な設立手続きは完了しており、本格的な営業開始に向けた各種手続きを進めております。また、アジア専門部署及び現地代理店を活用し、韓国やインド等のアジア地域向けの営業拡大に取り組むほか、台湾の連結子会社である和井田精機股份有限公司を活用した生産販売体制の強化にも引き続き取り組んでおり、同社にて製造を行っているダイヤモンドインサート刃先研削盤「DCG-G1」の販売を開始いたしました。

上記の通り、売上高および利益確保に向けた各種取り組みを行ってまいりましたが、米国の関税措置への懸念から設備投資に慎重な姿勢が継続したことや、イラン情勢の悪化に起因する海上輸送の混乱等の影響から、当連結会計年度における売上高は6,659百万円（前年同期比11.8%減）となりました。また、海外展開に係る経費の増加、将来に向けた設備投資に伴う償却負担増、研究開発費率の増加等により、営業利益は254百万円（前年同期比64.1%減）、経常利益は355百万円（前年同期比51.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は275百万円（前年同期比36.6%減）となりました。品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

金型関連研削盤については、主に中国及びアジア向けの販売が増加し、売上高は3,196百万円（前年同期比64.7%増）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の48.0%を占めております。

(切削工具関連研削盤)

切削工具関連研削盤については、売上高は2,361百万円（前年同期比46.8%減）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の35.5%を占めております。

(その他の機械)

その他の機械については、売上高は36百万円（前年同期比53.8%減）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の0.5%を占めております。

(アフターサービス)

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、売上高は1,064百万円(前年同期比2.7%減)となりました。アフターサービスにおける売上高は、当社グループの総売上高の16.0%を占めております。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、12,535百万円となりました。これは、主として電子記録債権が188百万円、投資有価証券が294百万円増加し、売掛金が394百万円、建設仮勘定が88百万円、繰延税金資産が93百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、1,888百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が76百万円、未払法人税等が129百万円、長期借入金が153百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ291百万円増加し、10,646百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が216百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、4,340百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、742百万円(前年同期は917百万円の収入)となりました。税金等調整前当期純利益353百万円を計上したほか、収入の主な内訳は、減価償却費454百万円、売上債権の減少額351百万円等であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額152百万円、法人税等の支払額237百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、440百万円(前年同期は401百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出129百万円、無形固定資産の取得による支出108百万円、定期預金の預入による支出200百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、465百万円(前年同期は12百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出229百万円、配当金の支払額227百万円等であります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、中国におけるプロファイル研削盤の受注が好調に推移しているものの、イラン情勢の悪化に起因する海上輸送の混乱により、製品の販売および資材の仕入等に影響を受ける可能性があり、今後の動向を注視する必要があります。

上記状況を注視しつつ、グローバル展開の継続、既存製品の品質向上、生産工程の見直し及び新製品の開発等に取り組み、売上高及び利益確保に努めてまいります。なお、次期(2027年3月期)の業績の見通しにつきましては、連結売上高7,524百万円、連結営業利益428百万円、連結経常利益501百万円、親会社株主に帰属する当期純利益351百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,812,270	4,880,238
受取手形	49,214	5,536
電子記録債権	58,652	247,115
売掛金	1,348,277	953,599
契約資産	8,272	45,336
商品及び製品	79,288	116,336
仕掛品	1,391,442	1,317,454
原材料及び貯蔵品	763,898	788,062
その他	283,196	202,823
流動資産合計	8,794,513	8,556,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,106,392	3,194,400
減価償却累計額	△2,627,733	△2,674,589
建物及び構築物(純額)	478,659	519,811
機械装置及び運搬具	2,349,607	2,489,898
減価償却累計額	△1,457,500	△1,523,914
機械装置及び運搬具(純額)	892,106	965,983
土地	853,090	853,090
リース資産	103,200	103,200
減価償却累計額	△13,975	△26,875
リース資産(純額)	89,225	76,325
その他	853,655	836,671
減価償却累計額	△733,287	△733,659
その他(純額)	120,368	103,012
建設仮勘定	248,511	160,000
有形固定資産合計	2,681,961	2,678,222
無形固定資産	535,649	505,177
投資その他の資産		
投資有価証券	410,023	704,170
繰延税金資産	139,673	45,747
その他	40,932	45,778
投資その他の資産合計	590,629	795,695
固定資産合計	3,808,241	3,979,095
資産合計	12,602,755	12,535,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	389,689	382,968
短期借入金	50,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	229,666	153,344
リース債務	13,597	13,881
未払法人税等	144,263	14,309
役員賞与引当金	42,840	21,170
製品保証引当金	17,950	16,139
その他	590,551	595,425
流動負債合計	1,478,558	1,257,239
固定負債		
長期借入金	364,469	211,125
資産除去債務	6,414	7,388
長期リース債務	86,498	72,616
長期末払金	43,390	43,390
繰延税金負債	2,756	—
退職給付に係る負債	258,482	266,535
製品保証引当金	6,483	30,415
固定負債合計	768,493	631,470
負債合計	2,247,052	1,888,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	904,652	908,123
利益剰余金	8,632,467	8,673,747
自己株式	△354,852	△343,206
株主資本合計	10,025,566	10,081,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203,789	420,511
為替換算調整勘定	37,741	65,399
その他の包括利益累計額合計	241,530	485,910
非支配株主持分	88,606	79,013
純資産合計	10,355,703	10,646,888
負債純資産合計	12,602,755	12,535,598

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	7,554,307	6,659,190
売上原価	4,585,311	4,157,856
売上総利益	2,968,995	2,501,334
販売費及び一般管理費	2,259,622	2,246,512
営業利益	709,372	254,821
営業外収益		
受取利息	19,517	11,238
受取配当金	13,574	16,076
受取賃貸料	12,140	11,937
為替差益	—	63,247
その他	6,714	12,376
営業外収益合計	51,946	114,875
営業外費用		
支払利息	5,823	7,648
不動産賃貸原価	6,443	6,443
為替差損	14,619	—
その他	94	—
営業外費用合計	26,980	14,091
経常利益	734,338	355,605
特別利益		
固定資産売却益	1,089	—
特別利益合計	1,089	—
特別損失		
固定資産除却損	1,003	2,516
投資有価証券評価損	720	—
減損損失	16,584	—
特別損失合計	18,308	2,516
税金等調整前当期純利益	717,119	353,089
法人税、住民税及び事業税	303,724	101,254
過年度法人税等	—	△25,688
法人税等調整額	△28,596	16,615
法人税等合計	275,127	92,182
当期純利益	441,991	260,907
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	6,904	△15,006
親会社株主に帰属する当期純利益	435,087	275,913

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	441,991	260,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△359	216,721
為替換算調整勘定	△14,252	37,360
その他の包括利益合計	△14,611	254,082
包括利益	427,380	514,989
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	424,970	520,293
非支配株主に係る包括利益	2,409	△5,304

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	843,300	899,319	8,431,203	△367,155	9,806,666
当期変動額					
剰余金の配当			△233,824		△233,824
親会社株主に帰属する当期純利益			435,087		435,087
自己株式の処分		5,333		12,302	17,636
その他					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,333	201,263	12,302	218,899
当期末残高	843,300	904,652	8,632,467	△354,852	10,025,566

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	204,148	47,499	251,647	98,919	10,157,234
当期変動額					
剰余金の配当					△233,824
親会社株主に帰属する当期純利益					435,087
自己株式の処分					17,636
その他					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△359	△9,758	△10,117	△10,313	△20,431
当期変動額合計	△359	△9,758	△10,117	△10,313	198,468
当期末残高	203,789	37,741	241,530	88,606	10,355,703

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	843,300	904,652	8,632,467	△354,852	10,025,566
当期変動額					
剰余金の配当			△227,973		△227,973
親会社株主に帰属する当期純利益			275,913		275,913
自己株式の処分		3,470		11,646	15,117
その他			△6,659		△6,659
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,470	41,280	11,646	56,397
当期末残高	843,300	908,123	8,673,747	△343,206	10,081,964

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	203,789	37,741	241,530	88,606	10,355,703
当期変動額					
剰余金の配当					△227,973
親会社株主に帰属する当期純利益					275,913
自己株式の処分					15,117
その他					△6,659
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	216,721	27,658	244,380	△9,592	234,787
当期変動額合計	216,721	27,658	244,380	△9,592	291,185
当期末残高	420,511	65,399	485,910	79,013	10,646,888

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	717,119	353,089
減価償却費	410,683	454,429
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△5,736	22,121
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,950	△21,670
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,179	8,053
受取利息及び受取配当金	△33,092	△27,314
支払利息	5,823	7,648
為替差損益 (△は益)	20,779	△8,444
減損損失	16,584	—
固定資産売却損益 (△は益)	△1,089	—
固定資産除却損	1,003	2,516
投資有価証券評価損益 (△は益)	720	—
売上債権の増減額 (△は増加)	266,757	351,497
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△57,285	△152,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,297	△6,720
その他の資産の増減額 (△は増加)	32,000	64,697
その他の負債の増減額 (△は減少)	△93,206	△113,605
小計	1,248,993	934,027
利息及び配当金の受取額	31,936	28,292
利息の支払額	△6,068	△7,498
法人税等の支払額	△357,122	△237,294
法人税等の還付額	—	25,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	917,739	742,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△161,541	△129,050
有形固定資産の売却による収入	1,089	—
有形固定資産の除却による支出	—	△2,258
無形固定資産の取得による支出	△240,663	△108,961
定期預金の預入による支出	—	△200,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,116	△440,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△302,292	△229,666
リース債務の返済による支出	△13,319	△13,597
配当金の支払額	△233,824	△227,973
非支配株主への配当金の支払額	△12,723	△4,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,159	△465,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,874	30,961
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	474,588	△132,032
現金及び現金同等物の期首残高	3,997,682	4,472,270
現金及び現金同等物の期末残高	4,472,270	4,340,238

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(製品保証引当金)

製品の品質保証に伴う支出に備えるため、過去の実績に基づいて今後必要と見込まれる額を製品保証引当金として計上しておりますが、過去実績データの蓄積により、より精緻な機種ごとの保証費用の把握が可能となったため、当連結会計年度において見積りの変更を行いました。この変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益が26,846千円減少しております。

(連結損益計算書関係)

(減損損失)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	減損損失
岐阜県高山市	遊休資産	機械装置	16,584千円

事業用資産については原則として、当社は事業単位ごとに、連結子会社は各社を一つの単位としてグルーピングを行っております。また、遊休資産及び賃貸不動産については個別物件ごとにグルーピングを行っております。

遊休資産について、将来の使用見込みがなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額16,584千円を減損損失として特別損失に計上しております。回収可能価額は正味売却価額により測定しておりますが、当該資産については来期中に廃棄予定のため、0円で評価しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報に関する記載は省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	金型関連研削盤	切削工具関連研削盤	その他の機械	アフターサービス	合計
外部顧客への売上高	1,941,453	4,440,630	77,980	1,094,243	7,554,307

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	アジア地域 (中国を除く)		欧米等の地域		合計
			うち韓国		うちイスラエル	
3,234,446	1,354,961	1,286,329	879,778	1,678,570	909,690	7,554,307

(注) 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国……………中国

アジア地域(中国を除く)……………台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

欧米等の地域……………米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主な相手先別の売上高及び当該売上高の総売上高に対する割合は以下のとおりです。

相手先	売上高(千円)	割合(%)
ISCAR LTD.	803,490	10.6

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	金型関連研削盤	切削工具関連研削盤	その他の機械	アフターサービス	合計
外部顧客への売上高	3,196,970	2,361,634	36,030	1,064,556	6,659,190

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	アジア地域 (中国を除く)	欧米等の地域	合計
2,896,945	1,801,675	1,068,254	892,315	6,659,190

(注) 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国……………中国

アジア地域(中国を除く)……………台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

欧米等の地域……………米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報に関する記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報に関する記載は省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,578.29円	1,620.26円
1株当たり当期純利益	66.95円	42.34円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,355,703	10,646,888
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	88,606	79,013
(うち非支配株主持分(千円))	(88,606)	(79,013)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,267,097	10,567,875
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,505,192	6,522,351

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	435,087	275,913
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	435,087	275,913
普通株式の期中平均株式数(株)	6,498,736	6,516,287

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。